

懸虹



公益財団法人 星総合病院

● 特集

● 新年のご挨拶



- 心臓病センターの取り組み
- 集学的痛みセンター施設認定
- 緩和ケア通信 第3号
- 第98回集談会開催
- グランプリ受賞
- 出向・研修事業について
- こども事業部ニュース
- 連携医のご紹介…折笠医院



落日 (M30、2001)
星 一雄

【醫】

【靈】

「アフターコロナ」という単語がちらほらと聞かれるようになってきました。そう言いたい気持ちは、私を含めほとんどの方がお持ちでしょうが、残念ながら安心してそう言える日が来る可能性は極めて低いと考えられています。そうしますと、多くの方は「新しい生活様式」を実践してゆくこととなりますが、この概念はかなり曖昧な観念的なものです。その結果、常にこのウイルスと共存してゆくこととなります。

我々医療機関では、社会情勢がどのように変わっても、このウイルスの怖さに変化はありませんので、変わることなくこれまで通りの感染予防策（標準予防策）を講じることに求められます。なんだ簡単な話じゃないか、と思われたあなたは非常に正しいのですが、現実には今回の騒動で「ボーっと生きてんじゃねーよ！」とチコちゃんに叱られるパニックに陥った医療従事者の何と多いことか。

ヒトにとって緊張を持続し、継続して感染予防することは容易なことではありません。しかし、医療従事者である私たちは、自身を含め、地域住民を守るためには必須であることを再確認し感染予防を実行し続けて行きましょう。

星総合病院 感染対策室室長
加藤 一夫

新年のご挨拶

公益財団法人星総合病院 理事長 星 北斗



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は格別なご厚誼を賜り御礼申し上げます。

昨年、星総合病院では止水壁など恒久的な水害対策が完了し、より安全な病院へとリニューアルすることができました。また、今年には田村市に私たちが運営する認可保育所の新築工事に着手致します。更に、「新たな乳児院事業」を福島県から指定管理候補者として選定され、子ども関連事業が一気に加速する年になります。

さて、現在も猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症に対しては、法人各施設が皆様の生命を最優先に運営を行って参りますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い致します。

この度のコロナ禍は、私たちに様々なことを問いかけているように思えるのは、私だけではないと思います。例えば、医療の本質とは、医療人としての覚悟とは、地域社会における私たちの役割とは、社会の一員として地域で暮らすとは、などなど。

普段当たり前だと思っていることに対し、改めて真摯に向き合い、深く考え、そして、得られた答えに向かって、確実に歩みを進める一年にしたいと考えています。

今年も皆様のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。



星総合病院 病院長 野水 整

新年あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症で診療体制の大きな変更を余儀なくされましたが、職員一丸となって乗り切ろうと努力しています。新型コロナウイルス感染症治療における福島県の重点医療機関として、また郡山市の発熱外来・PCRセンターとしての診療および連携、そして外部からの持ち込みを防ぐなど感染対策を十分にしたうえで高度な一般診療を維持するというのが昨年から引き続いての目標です。また従前から掲げているように医療人としての倫理を確立し医療サービスに努めること、慢性期・療養型病院、クリニック、在宅医療と連携した地域密着型医療を目指すことも大きな目標です。医療サービスを低下させることなく、一方で職員の働き方改革を進めてまいります。この1年は感染症対策で厳しい1年になることが予想されておりますが、新しい考え方(ニューノーマル)をもって乗り切る所存ですので、ご指導、ご支援、ご理解をどうぞよろしくお願い申し上げます。

星ヶ丘病院 病院長 竹内 賢



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2020年は初頭より新型コロナウイルスが猛威を振るい、社会・経済・医療に甚大な影響を与えました。今後の展開はまだまだ分かりませんが、本年も受診される皆様方が安心して来院頂けるよう、全職員がしっかりと感染対策を行うとともに、励ましやねぎらいのメッセージを贈って下さった皆様には、この場を借りて心よりお礼申し上げます。

当院は、精神科の急性期から慢性期、身体合併症治療等、1日も早い患者さんの回復を願い、多職種で患者さん本位の質の高い医療の提供に努めておりますが、特に昨年は、精神科デイケア部門の充実を図り、在宅支援体制を強化、患者さんの地域生活、地域定着支援に大きく寄与する事ができた1年であったと考えています。

今後も継続してお一人おひとりの思いに寄り添い、患者さんがお住まいの地域の中でいきいきと、その人らしく暮らしていくことが出来るよう、更に支援を強化して参ります。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



三春町立三春病院 病院長 渡辺 文明

新年あけましておめでとうございます。

昨年はコロナ対応で職員のみなさんへは大変な負担をおかけして申し訳ない気持ちとともに感謝している次第です。また三春町の地域外来に関しても医師会の先生方をはじめ三春町役場職員のご努力により運営させていただき感謝申し上げます。

本年度も町立三春病院という公的機関の役割を果たすべく職務を全うしたい所存です。さらなるご指導の程よろしく申し上げます。

たむら市民病院 病院長 佐瀬 道郎



新年あけましておめでとうございます。

早いものでたむら市民病院は開設後1年半がすぎました。夜間救急や急性期医療への対応は残念ながら皆様のご期待にはお応えできていないかもしれませんが、慢性期や終末期の患者さんや社会的入院を希望される患者さんの数は、地域の先生方や財団からの紹介により着実に増加しています。今年、3月には念願の電子カルテが導入され業務の効率化を推進する予定です。また令和6年の新病院への移転に向けた様々な計画を練り上げていく大切な年でもあります。本年も職員一丸となってこの地域の皆様に信頼される市民病院を目指して参りますので、どうぞご指導ご支援の程よろしくようお願い申し上げます。



介護老人保健施設オリオン 施設長 大貫 朱夏

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

昨年は6月より当初からの目標であった『超強化型老健施設』の指定を受けることができました。これも法人内の連携はもとより、近隣の医療機関や地域、福祉の皆様のご御理解、御協力の賜物と感謝しております。コロナ禍で面会制限をせざる得

ない状況の中、四ヶ月ぶりに（ガラス越しではありますが）面会を再開した際、皆様の笑顔を拝見し、ご家族の力をあらためて実感した2020年でした。“超強化型”においては、介護度の高い方々の受け入れと同時に、「在宅復帰支援」が重要視されるという、難易度の高い指標を課せられております。ですが、面会再会時の皆様の笑顔を糧に、入所された方々が住み慣れた地域、元の生活環境に少しでも近い形で復帰できるよう職員一丸となって尽力していく所存です。そして「ディケア」「訪問リハビリテーション」「介護教室・介護予防サロン」などを通し、地域の方々の健やかなる生活を支える一部でありたいと思っております。本年も引き続き、ご指導ご鞭撻の程よろしくようお願い申し上げます。

社会福祉法人愛星福祉会 理事長 星 光一郎



明けましておめでとうございます。本年も愛星福祉会を宜しくようお願い申し上げます。

現在もなお、拡大を続けるコロナ感染によって、私たちは福祉・医療の責任の重さを再認識し、「院内感染」や「医療崩壊」が起こらないよう徹底的な予防策の継続に努めていかななくてはなりません。

自分達が感染せず、感染させず、安全・安心な予防接種と特効薬の早期完成が間に合うことを心から願っています。

介護保険が導入されて20年、障害者自立支援法が改正されて15年、愛星福祉会の全ての施設（事業所）と医療との連携協力はコロナ禍において益々その重要性を増すものと考えます。全ての人を等しく大切に、全ての人々の幸せを願い支援する社会福祉法人でありたいと思っております。

穏やかな生活が戻りますように。

星総合病院 心臓病センターの取り組み

当院では、1981年（昭和56年）3月より心臓カテーテル検査、1984年（昭和59年）12月より冠動脈形成術を開始し、1991年より心臓血管外科が開設されました。その後1997年（平成9年）に心臓病および血管疾患の専門治療を行うため、現在の心臓病センターを創設しました。

当センターでは24時間365日、心臓・血管の緊急治療が行えるよう、循環器内科・心臓血管外科・麻酔科の医師をはじめ、臨床工学技士・臨床検査技師・理学療法士・診療放射線技師・看護師等が協力し治療にあたっております。

高齢者や重症の方に対する心臓・血管の治療が増えており、外科においては安全で可能な限り負担が少ない小切開に取り組み患者さんのQOL（生活の質）の向上を目指してきました。

更に重度大動脈弁狭窄症に対して、カテーテルを用いて人工弁を留置するTAVI（経カテーテル大動脈留置術）実施医療機関認定の準備を進めています。

一般内科医師、循環器内科医師向けに同内容を3日間（11/27、12/4、12/11）にわたり「循環器疾患Webセミナー」を開催しました。

I部（一般内科向け）

「加齢に伴う心臓弁膜症に向き合う一心雑音を聴きとる」

II部（循環器内科向け）

「当院の心臓大血管手術の取り組み—弁形成術、小切開手術…そしてTAVI導入へ—」

星総合病院心臓病センター長 心臓血管外科部長 高橋 昌一



施設認定を受けました(慢性疼痛センター)

厚生労働省 慢性の痛み政策では、慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究を推進し、国民が難治性の治らない痛みで困った場合に「集学的痛みセンター」において診療を受けられる体制を全国で構築することを目指しております。

このたび、星総合病院慢性疼痛センターが「集学的痛みセンター」に認定されました。

原因が特定されていない長引く痛みでお悩みの方は、かかりつけ医を通じて、星総合病院整形外科へお問い合わせ下さい。

<https://paincenter.jp/businessguide.html#itami>

緩和ケア研修会を
開催しました

“最期まで人生をよりよく生きる”のために重要な「緩和ケア」の概念は、医療や介護に従事しているスタッフへもまだまだ普及が必要です。「適切な緩和ケアがいつでもどこでも受けられる社会」を目指して、2018年から医療従事者向けの緩和ケア研修会を開催しています。



第3回目となる今回は、27名の様々な職種が参加し、緩和ケアの基礎知識から患者・家族とのコミュニケーション、様々な状況の患者さんに対するケアや支援の提案など実践的な内容まで1日かけて学びました。検温やマスクの着用など感染症対策に留意しながらの開催でしたが、参加者からは「現在、e-ラーニングなどのWeb研修が多い中で、こうして直接話を聞き意見を交換できる機会があることは大きな学びになった」との声が聞かれました。

緩和ケアって？

緩和ケアとは、重い病を抱える患者さんやそのご家族一人ひとりの身体や心などの様々なつらさを和らげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケアのことです。

緩和ケアに関するお問い合わせ：星総合病院地域連携センター ☎024-983-5512

第98回 集談会開催

地域の医療水準向上を目的に昭和47年から開催している当法人の学術集会「集談会」を今年も開催することができました。会場となったメグレズホールでは、地域医療を担う医師、星総合病院の医師が聴講し、Web配信の映像を各施設職員がそれぞれ71か所で視聴し、459名が参加しました。

第1部 基調講演

「新型コロナウイルス感染症と星総合病院の感染対策」

星総合病院 感染対策委員会委員長 佐久間 弘子

第2部 特別講演

座長：星総合病院 脳神経外科部長
小林 亨

「細胞治療の潮流」

福島県立医科大学医学部
輸血移植免疫学講座主任教授
池田 和彦 先生



グランプリを
受賞しました

星総合病院臨床研修医の佐藤孝紀先生が令和2年11月12日に「令和2年度 福島県地域医療症例検討会」で発表し、見事グランプリを受賞しました。テーマ

「柴芥湯が原因と考えられたARDS（急性呼吸促拍症候群）の一例」



地域の健康を守るために

当法人では、出向事業や保健医療福祉機関との相互研修を行っています。

- ・ 福島県立南会津病院
- ・ 只見町国民健康保険朝日診療所
- ・ 福島県総合療育センター
- ・ 鏡石町役場 健康環境課
- ・ 田村地域包括支援センター
- ・ 郡山市保健所
- ・ 公立小野地方総合病院
- ・ 厚生労働省（研修生） など

“経験”を積むことで、可能性を広げてほしい ～出向・研修への想い～

出向制度が始まったきっかけは何ですか

「東日本大震災の直後に、福島県立南会津病院から応援依頼があり、看護師2名が出向しました。地域医療支援病院の役割である、地域に必要な医療を確保するために出向事業を開始しました。今では医師、看護師、理学療法士などが出向しています。」

出向者に期待していることは何ですか

「病院等に求められることが急速に多様化しています。法人資源の枠を超えて、様々な環境で学び、柔軟に対応できるスタッフが増え、地域に還元できることを期待しています。」

「出向制度はキャリア形成と企業間交流になります。法人職員が外部でも力を発揮し、地域に開かれた病院づくりに繋がるでしょう。」



「只見町国民健康保険朝日診療所」へ出向中の保健師さんにお話を聞きました！

10/1から朝日診療所で勤務させていただいています。はじめはこれまでの業務や環境とのギャップに戸惑うこともありましたが、自然豊かな美しい環境の中で、こちらのスタッフのみなさんが気兼ねなくあたたかく接してくださり、充実した日々を送っています。

診療所の仕事では、入院・外来・訪問看護の業務があり、それぞれの患者さんのニーズに合わせたケアを提供できる喜びを感じます。急性期病院の積極的な治療に関わる業務はもちろんスキルアップになりますが、患者さん一人ひとりにじっくり関わる看護ができる環境もまた学びが深いと思います。

まずは病棟での業務を経験し、その後は外来業務も経験する予定です。今後も新たな学びのために業務に励みたいと思います。



☆こども事業部News☆

☆ 運動会やお祭りが開催されました ☆

各施設とも感染症の対策をしながら、工夫を凝らした競技や催しを企画し、子ども達が楽しく参加しました。



9/29 運動会
(三春町第2保育所)



10/16 わんぱく祭り(星ヶ丘保育園)



10/30 ハロウィンパーティー
(三春町第1保育所)

☆ 大町キッズベース感謝月間(10月) ☆



キッズベースに関わりを持つ地域の方々への感謝を込め、10月は様々なイベントを開催しました。

- ・毎週土曜“おおまちマルシェ”でのお楽しみ企画
- ・イベント参加者への記念品プレゼント



- ・みんなのキッチン(こども食堂)「人気の復刻メニュー」など
- これからもみなさんが気軽に利用できる施設を目指します。チラシやホームページをぜひご覧ください。

☆ 子育て応援プログラム～公開講座～ ☆

10/31

子育て支援研修会 「植物が教えてくれたこと～畑は人「も」育つ場所～」
農家でNPO法人OYAKODO(おやこどう)ふくしま代表理事 設楽哲也 氏を講師に迎え、開催しました。

11/28

子育て講座 「食育事業企画おなか元気教室」
郡山ヤクルト販売(株)様を講師に迎え、開催しました。

12/17

危険予知講座 「これって虐待かも?～虐待について学ぼう～」
福島県県中児童相談所職員の方と児童家庭支援センターの法人職員が講演し、虐待の現状と対策について理解を深めました。



☆ 絵本やDVDをいただきました(幼年消防クラブ) ☆

船引保育所



ほしのご保育園



法人が運営する5つの保育施設が加入している「幼年消防クラブ」では、子ども達が火災予防や啓発活動を行っています。感染症対策により「幼年消防の集い」は中止になりましたが、郡山地方幼年少年女性防火委員会様より絵本やDVDをいただきました。

医療法人 折笠医院



- 所在地 〒963-8803
郡山市横塚 6-10-18
TEL 024-944-1199
- 診療時間 月・火・水・金 8:30 ~ 12:30
14:30 ~ 18:30
木・土 8:30 ~ 12:00
土 13:00 ~ 15:00
- 休診日 日曜・祝日・木曜午後
- 開設者 折笠 博史
- 診療科目 内科・胃腸内科



平成18年に再開業されてから約14年間守ってこられた医院の診察室は、南向きの玄関から入った奥にあります。しっかりとして座り心地の良いソファが並び、待合室の角には大きな観葉植物が飾られています。「優しい雰囲気にして欲しい」とだけ設計者にお願ひしました、という先生のお人柄が、感じられる院内でした。

取材をはじめて開口一番「まちの医院として、来院者のニーズにあった診療をおこなうよう心掛けています」と穏やかにお話しされたことが印象に残っています。(そして、折笠医院の経緯をお伺いすると、星総合病院との繋がりが見えてきたのでご紹介します。)

胃腸内科を専門としているため、通常診察の他に、自覚症状などによっては胃カメラ・大腸カメラなどの消化器系検査も行いながら、必要時には迅速に総合病院に紹介し、適切な治療を継続できるように気を配ってられるとのことでした。

昔から長く通っている方々も多く、家族で来院される方もいるという話もお聞きしました。医院の西側(目の前)にある芳賀小学校の学校医として小学生の健康診断も担当しているとお伺ひし、まさに、お子さんから高齢の方の健康管理までも携わっておられるので、このまちの保健室のような医院であると感じました。

駆け出しの頃に先輩方から指導を受けた「日々の業務を繰り返し行うこと」「同じことをしっかり

と繰り返していくことは技能を高める助けになる」を今も大切にしています、と、おっしゃっていた先生からは、地域の皆様の『日常を守っていくこと』への信念が感じられました。

郡山駅前のアーケード内に星病院があった頃、お父様は星病院に勤められていたという古くからのご縁をお聞きしました。昭和42年に医院を開業し、当時から地域の方々に慕われ、通い続ける人も多くいたようでした。平成3年にお父様が閉院されたときには、折笠先生はまだ医師に成りたてだったそうです。お父様が地域から愛される『まちの医院』であり続けたように、折笠先生も『まちの医院』でありたいと何度も思われたのではないのでしょうか。

現在も星総合病院とは、紹介入院・逆紹介というネットワークを維持させていただいております。「緊急時には先生自らが病院にご連絡くださり、丁寧に経過を説明していただけるので、大変ありがたいです」と地域連携センターのスタッフからも好評です。取材時、待合室で待機していた私たちに話しかけて下さり、また、感染対策でしっかりと清掃など行っている事務・看護職の方々と拝見し、折笠先生をはじめスタッフの皆様ともお話ができて、大変満足した時間を過ごせました。これからもよろしくお願ひ致します。



ご意見をお聞かせ下さい。

ホームページアドレス
<http://www.hoshipital.jp>
 発行／公益財団法人星総合病院
 編集／法人広報部
 発行日／令和3年1月
 住所／〒963-8501
 郡山市向河原町159番1号

公益財団法人 星総合病院

- 星総合病院
〒963-8501 郡山市向河原町159番1号
TEL 024-983-5511(内)
- 星ヶ丘病院
〒963-0211 郡山市片平町字北三天7
TEL 024-952-6411(内)
- 三春町立三春病院(指定管理)
〒963-7752 田村郡三春町字六升50番地
TEL 0247-62-3131(内)
- たむら市市民病院(指定管理)
〒963-4312 郡山市船引町船引字南町通111番地
TEL 0247-82-1117
- ほし横塚クリニック
〒963-8803 郡山市横塚2丁目20番36号
TEL 024-956-7778
- 星訪問看護ステーション
〒963-8503 郡山市船引町20番36号(ほし横塚クリニック内)
TEL 024-956-2322

- サテライト星ヶ丘(星ヶ丘病院内)
TEL 024-962-1711
- サテライトしずか
〒963-0209 郡山市警備南5丁目18番地
TEL 024-983-6410
- サテライト三春(三春病院内)
TEL 0247-73-8270
- 介護老人保健施設オリオン
〒963-0211 郡山市片平町字北三天2
TEL 024-952-6413
- 芳賀・小原田地域包括支援センター
〒963-8822 郡山市昭和2丁目17-2
TEL 024-941-1121
- 星総合病院在宅介護支援センター(ほし横塚クリニック内)
〒963-8801 郡山市横塚2丁目20番36号
TEL 024-983-5515
- 居宅介護支援事業所星ヶ丘(星ヶ丘病院内)
TEL 024-952-6414
- 養護老人ホーム三春町敬老園(指定管理)
〒963-7752 田村郡三春町字六升50番地の1
TEL 0247-62-3618

- ボラリス保健看護学院
〒963-8501 郡山市向河原町159番7号
TEL 024-983-5010
- 大町キッズベース
〒963-8001 郡山市大町2丁目3-26
TEL 024-953-5401
- ほしくま児童家庭支援センター
〒963-8001 郡山市大町2丁目15-2 ハート調剤ビル2F
TEL 024-983-8375
- ほしのこ保育園
〒963-8501 郡山市向河原町159番1号
TEL 024-983-5519
- 星ヶ丘保育園
〒963-0211 郡山市片平町字北三天7-3
TEL 024-951-0788
- 三春町第1保育所(指定管理)
〒963-7769 田村郡三春町担機1丁目4番地の1
TEL 0247-62-3539
- 三春町第2保育所(指定管理)
〒963-7719 田村郡三春町字山字山字泉沢100-1
TEL 0247-62-2748
- 船引(保育所)(業務委託)
〒963-4312 田村市船引町船引字下川原1-18
TEL 0247-82-0247